

第18回目 応用倫理・応用哲学研究会

隠喩と体験

—— 現象学的研究の試み

佐藤 駿（北海道大学）

司会/ 田口 茂（北海道大学）

2021年3月23日 15:00～16:30

開催形態/ ZOOM（オンライン開催）

申込/ 事前申し込みが必要です

応用倫理センターHP、または下記QRコードから
申込フォームにアクセスしてお申し込みください

締め切り日は、3月22日といたします



主催/

北海道大学大学院文学研究院
応用倫理・応用哲学研究教育センター

「あらゆる概念形成は比喩にもとづく」(ショーペンハウアー)
 ——このような主張を大袈裟な物言い、それこそ一種のレトリックだと思う向きは多いかもしれない。だが興味深いことに、隠喩(メタファー)という現象に注意を向けた前世紀の研究者たちは、隠喩(ひいてはレトリック一般)が単に言葉の技術(説得や魅力的な文章のための技術)の問題ではなく、むしろ思想や概念のレベルで扱われるべき何らかの事象を指していると考えた点でしばしば一致している。もしそうだとすれば、自覚的にであれ無自覚にであれ隠喩に頼らざるをえないあらゆる言説にとって、このような見方の持つ含意はとても大きい。本発表は、現象学の観点から——つまり〈隠喩的表現を用いるとき私たちは何を体験・経験しているのか〉という問いを通じてこのような見解を共有しつつ、隠喩の哲学が持つべき射程を示唆してみることにした。

佐藤 駿 (北海道大学)

司会/ 田口 茂 (北海道大学)

問い合わせ先/

応用倫理・応用哲学研究教育センター 事務局

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目

Tel: 011-706-4088

E-mail: caep@let.hokudai.ac.jp

URL: <http://caep-hu.sakura.ne.jp>

Twitter: @caep_hu

